



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場会社名 株式会社ベルパーク  
コード番号 9441

上場取引所 東  
URL <https://www.bellpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 猛  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石川 洋  
四半期報告書提出予定日 2023年11月7日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

TEL 03-3288-5211  
配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	85,595	12.4	3,139	5.0	3,174	4.4	2,133	△4.8
2022年12月期第3四半期	76,128	△5.8	2,990	△26.1	3,040	△24.3	2,240	△17.0

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,143百万円 (△4.5%) 2022年12月期第3四半期 2,244百万円 (△16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	110.86	—
2022年12月期第3四半期	116.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	47,834	31,675	66.2	1,646.29
2022年12月期	43,624	30,340	69.6	1,576.90

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 31,675百万円 2022年12月期 30,340百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	20.50	—	20.50	41.00
2023年12月期	—	21.50	—		
2023年12月期(予想)				21.50	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△2.7	3,500	△1.0	3,500	△2.5	2,200	△12.8	114.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	20,197,800株	2022年12月期	20,197,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	957,060株	2022年12月期	957,060株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	19,240,740株	2022年12月期3Q	19,240,809株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善とともに個人消費が持ち直しの動きを見せる等、景気は緩やかに持ち直しつつあります。その一方で、資源・エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇、各国の金融政策による急激な為替変動等、先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループの主な事業領域であります携帯電話等販売市場におきましては、各通信事業者の様々な方針のもと、キャリアショップ数の見直しや、メインブランドとサブブランドのショップを統廃合する動きが進む等、全国のキャリアショップ数は減少傾向にあります。なお、携帯電話販売においては各通信事業者間のMNP（他通信事業者からの乗り換え）競争が活況を呈しました。

このような事業環境の中、当社が運営するキャリアショップでは、ショッピングモール等の商業施設で積極的な販売促進活動を実施し、MNPを含めた新規顧客の獲得に注力いたしました。また、スマートフォンの設定等に不安のあるお客様向けに、サブスクリプション型の有償サポートをご案内する等、お客様のご利用状況やリテラシーに合わせた多様なサービスの提供に注力しました。その一方で、通信事業者の店舗戦略に対応し、代理店間で遠隔地や飛び地の店舗交換を行う等、引き続き店舗運営の効率化を推進しました。さらに、待ち時間の有効活用により接客時間を短縮させるため、お客様がご自身で手続きの一部を進めることができるシステムのご利用を推進し、店舗オペレーションの効率化にも努めました。法人ソリューション事業では、営業人員の増員、拠点の増設等、今後の成長に向けた投資を行いました。

売上高及び売上総利益は、新規契約を中心に携帯電話等販売件数が増加したことにより前年同期と比較して増加しました。販売費及び一般管理費につきましては、店舗網の統廃合により家賃等の固定費の削減に努めた一方で、商業施設等における販促イベント数の増加による販売促進費の増加や、法人ソリューション事業の増員に伴う人件費増加等により、前年同期と比較して増加しました。なお、特別利益は、店舗撤退に伴う受取補償金の減少等により、前年同期と比較して減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高85,595百万円(前年同期比12.4%増)、営業利益3,139百万円(同5.0%増)、経常利益3,174百万円(同4.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,133百万円(同4.8%減)となりました。

[ご参考：キャリアショップ数]

当社グループが運営するキャリアショップ数は、2023年9月末時点で353店舗となりました。

(2023年9月末時点)

	直営店	フランチャイズ	計
ソフトバンクショップ	246	48	294
ドコモショップ	9	-	9
auショップ	7	-	7
ワイモバイルショップ	34	9	43
合計	296	57	353

※2022年12月末時点に比べ、直営店は6店舗減少、フランチャイズは1店舗増加しております。

※2022年9月末時点に比べ、直営店は2店舗減少、フランチャイズは4店舗減少しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、47,834百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,209百万円増加しました。これは主に、棚卸資産が3,241百万円減少した一方で、現金及び預金が5,048百万円、売掛金が2,221百万円増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、16,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,874百万円増加しました。これは主に、買掛金が1,422百万円、賞与引当金が648百万円、その他流動負債が687百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、31,675百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,335百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加2,133百万円、前連結会計年度決算に係る期末配当及び当連結会計年度の中間配当の実施による利益剰余金の減少808百万円によるものであります。

また、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.4ポイント減少し、66.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しにつきましては、2023年2月9日付「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました連結業績予想から変更はございません。今後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,616,674	22,664,817
売掛金	10,902,060	13,123,566
棚卸資産	8,923,531	5,681,581
その他	505,554	536,810
流動資産合計	37,947,820	42,006,776
固定資産		
有形固定資産	2,120,834	2,163,578
無形固定資産		
のれん	188,608	109,354
その他	65,902	50,151
無形固定資産合計	254,510	159,506
投資その他の資産		
敷金	2,154,468	2,159,660
その他	1,276,877	1,344,764
貸倒引当金	△130,087	—
投資その他の資産合計	3,301,258	3,504,424
固定資産合計	5,676,602	5,827,509
資産合計	43,624,423	47,834,285
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,009,415	10,432,036
未払法人税等	664,993	667,697
賞与引当金	367,865	1,016,098
その他	2,569,137	3,256,295
流動負債合計	12,611,411	15,372,127
固定負債		
長期借入金	—	95,000
退職給付に係る負債	6,959	6,947
資産除去債務	588,914	596,492
その他	76,329	87,879
固定負債合計	672,202	786,319
負債合計	13,283,614	16,158,446
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,148,322	1,148,322
資本剰余金	1,872,489	1,872,489
利益剰余金	27,907,312	29,232,288
自己株式	△611,656	△611,656
株主資本合計	30,316,468	31,641,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,340	34,394
その他の包括利益累計額合計	24,340	34,394
純資産合計	30,340,809	31,675,839
負債純資産合計	43,624,423	47,834,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	76,128,711	85,595,596
売上原価	58,182,944	66,487,364
売上総利益	17,945,766	19,108,232
販売費及び一般管理費	14,955,364	15,968,625
営業利益	2,990,401	3,139,607
営業外収益		
物品売却益	8,908	30,716
店舗出店等支援金収入	15,060	5,872
投資事業組合運用益	44,767	—
助成金収入	4,654	2,611
その他	6,718	7,998
営業外収益合計	80,108	47,199
営業外費用		
支払利息	23	165
貸倒引当金繰入額	26,593	—
貸倒損失	—	6,798
投資事業組合運用損	—	3,309
その他	2,909	2,130
営業外費用合計	29,526	12,403
経常利益	3,040,983	3,174,402
特別利益		
投資有価証券売却益	4,039	—
固定資産売却益	18,460	7,507
受取補償金	374,392	87,001
特別利益合計	396,893	94,509
特別損失		
固定資産売却損	—	7,028
減損損失	50,916	39,559
投資有価証券評価損	1,618	—
店舗等撤退費用	44,966	28,999
その他	1,000	—
特別損失合計	98,502	75,587
税金等調整前四半期純利益	3,339,374	3,193,324
法人税、住民税及び事業税	1,202,246	1,246,488
法人税等調整額	△102,935	△186,250
法人税等合計	1,099,310	1,060,237
四半期純利益	2,240,063	2,133,087
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,240,063	2,133,087

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,240,063	2,133,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,203	10,053
その他の包括利益合計	4,203	10,053
四半期包括利益	2,244,267	2,143,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,244,267	2,143,140

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。